



Kawasaki Robot e-News はカワサキロボットのお客様に有益な情報やホットな話題を提供する隔月の電子情報誌です。

昧ッ工業会会長に就任



5月22日(火)に開かれました日本ロボット工業会通常総会にて前会長ファナック株式会社稲葉善治社長の任期満了に伴い、当社代表取締役副社長高尾光俊が新会長に選出されました。

任期は平成24年5月から26年5月までの2年間です。

「わが国のロボット産業は国内にモノづくりの現場をもつお客様と共に成長してきた。中国、韓国、台湾は急速にロボット市場を拡大するとともに、ロボットメーカーとしても力をつけてきて脅威になりつつある。日本の製造業の国際競争力を高めるためにも、日本のロボット産業育成に知恵を絞っていきたい。」と決意を述べられました。

クリーンロボット開発棟完成

クリーンロボットは、半導体装置メーカー向けビジネスにおいて、現在世界トップシェアを確保しており、2020年度には世界シェア50%を大きく超える絶対首位を目指しています。

このような状況下、新製品開発案件も急激且つ大量に増加しており、今回、開発能力を飛躍的に向上させる為、明石工場内にクリーンロボット開発棟(#26M)を新築しました。

この新開発棟は、鉄筋3階建、総フロア面積1,000㎡の広さを有しており、クラス10,000のクリーンルームも設置しています。

5月末より開発エリアを新開発棟に集約してフル活用し、新製品開発を加速しています。

更には、開発エリア集約に伴い空いたスペースを、生産拡張エリアとして有効利用すると共に、生産体制を抜本的に見直し、クリーンロボットの生産能力拡大も図っていきます。

米国連邦規格(USA Fed. Std. 209E)で定められたクリーンルームの洗浄度クラスで、1立方フィート(1ft³)に0.5ミクロン(0.5μ)径までのゴミ・埃の微粒子が10,000個まで許容できるレベルを意味しています。



新塗装ロボットKJシリーズ



防爆塗装ロボット「KJシリーズ」を発売します。

今回発売する「KJシリーズ」は、従来の「KFシリーズ」「KGシリーズ」の優れた性能を進化させつつ、自動車の車体や部品の塗装のみならず、その他一般産業用の塗装にも対応できる防爆仕様の塗装ロボットです。

従来の塗装ロボットでは、床置き、壁掛け、棚置きの各設置条件に対しそれぞれ専用の6軸アームで対応してきましたが、「KJシリーズ」はベース部を変更することで全ての設置条件に対応可能なコモンプラットフォーム型アームを採用しています。また、適用範囲を広げるため、6軸アームの「KJ264」に加え、ベース部に1軸追加した7軸アームの「KJ314」も揃えています。

「KJシリーズ」は、従来機に比べアーム本体を軽量・スリム化し、またケーブル処理一体構造の採用によりロボットの高密度配置が可能です。これにより塗装ブースの長さ・幅を縮小し、ブース強度も低減することができるため、生産設備および維持費用の大幅なコスト削減が可能になります。

川崎重工業(株)昧ッビヅセンター
〒673-8666 兵庫県明石市川崎町1-1
電話 (078)921-2946 Fax (078)923-6548

《国内営業問合せ先》

関東・東北地区(03)5807-7171 中部・北陸地区(0561)63-6800
関西・四国地区(078)921-1551 中国・九州地区(082)286-1711



URL: www.khi.co.jp/robot/